

# 比の2人が有機農業研修

新庄 AMDA農場で田植え

田植えをするタンバロさん（左）とマルティレッツさん



で実習を始めた。11月下旬まで、有機無農薬の稲作や野菜栽培などを実践し技術習得する。

ホセリト・アンディン・タンバロさん(50)とティルソ・アデイヴァ・マルティレッツさん(52)。同国で社会開発事業を展開する非政府組織(NGO)で有機農業普及に努めており1日に来日した。

新庄村と協力し、アジアでの有機農業普及に取り組み国際医療ボランティアAMDAから男性研修生2人を受け入れ、2日から同村

(本部・岡山市北区伊福町)がフィリピンから来た2人は「日本に来られてうれしい。多くのことを学び、母国で伝えたい」とあいさつ。

AMDA野土路農場

(約1畝)の一部で、村民の田植え歌に合わせてAMDAスタッフ、村民ら約6人と一緒に慣れた手つきで村特産のもち米・ヒメノモチの苗を植えた。

今後、アヒル農法による稲作や、土壌分析をしながら野菜作りを進める。村民とも交流するほか、有機農業に取り組み農家の視察も計画している。

研修は2年目で、昨年はインドネシアから受け入れた。

(三島翔)